

花の拠点経済波及効果について

1. 業務概要について

(1) 業務の目的

「はなのまち恵庭」をイメージする観光拠点を目的とした花の拠点「はなふる」について、各施設の売上を基に、恵庭市内への経済波及効果を推計し検証を行う。

(2) 波及効果の算定の手法

花の拠点の各施設、道と川の駅・センターハウス・農畜産物直売所等の各施設の売上実績を最終需要額として、産業連関表を基に経済波及効果を算定する。

2. 経済波及効果について

花の拠点売上高に伴う経済波及効果

(単位：百万円)

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
はなふる全体売上額	622	659	562	744	859	1,341
経済波及効果	886	917	791	1,030	1,243	2,040

3. 考察

- 1) 「道と川の駅」や農畜産物直売所「かのな」「センターハウス」がリニューアルオープンした、2020年(令和2年)以降、「はなふる」全体の売上額や経済波及効果が増加している。
- 2) 売上額及び経済波及効果について、2022年(令和4年)が大幅に増加している要因としては、「ガーデンフェスタ北海道」開催の影響の他、新規店舗参入の影響によるものと推測される。